

**講演会② 2022年7月14日(木)※再放送18(日)**

**主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会**

**共催：放課後等デイサービス「やどり木」**

# **特別支援が必要な子が 充実した夏休みを過ごせるコツ**

**(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長**

**中部学院大学 山内康彦 (学校心理士・ガイダンスカウンセラー)**

7月後半から夏休みが始まります

保護者にとっては正直“うんざり”なんて思っていないませんか？  
少しでも充実した休みを過ごせるようにコツを紹介します

生活リズムが乱れてしまう夏休み！

二学期のスタートがまた大変になってしまう！

どうすればよいか・・・・・・・・・・・・・・・・

優先順位を考え効果大 答えは「衣」「食」「住」

①「衣」→朝起きて着替えさせる(気持ちの切り替え)

②「食」→1日3食で“1日のリズム”をつくる

③「住」→飽きないように毎日に楽しみと変化

# ①「衣」→朝起きて着替えさせる (気持ちの切り替え)

◎ラジオ体操→起きるきっかけ

(家族で朝の散歩でもよい)

◎学童・児童館・放課後等デイの活用

(学校登校日と同じような生活リズム)

◎週に1回は“楽しみなお出かけ”を家族で企画する(突然行くのではなく、前もって言うとおくと良い)

## ②「食」→1日3食で “1日のリズム”をつくる

◎生活リズム作りは“楽しく”が基本  
食事は子ども達にとって楽しみなもの！

◎すっきりウンチで1日元気

①夜8時以降は飲食をしない

②朝起きて10分動く

③朝食は20分かけてゆっくり食べる

※「胃の結腸反射」→排便につながる

# ③「住」→飽きないように 毎日に楽しみと変化

◎成功経験ができる工作や活動（簡単な）  
「またやりたい」「やってよかった」



【万華鏡作り】



【リース作り】



【コリントゲーム作り】

# ③「住」→飽きないように 毎日に楽しみと変化

◎オススメの—課題—研究

→調理をすることで社会性も身につく！

◎絵日記と読書感想文をスラスラ書くことができる指導方法

→パターンで文章を書く指導方法

## ◎オススメの「課題」研究

→調理をすることで社会性も身につく！

①A4ファイルを100円ショップで買う

②毎日1つ調理をする

- ・簡単な物から（例：フルーチェ・ゆで卵）

③「日付」「作った物」「作り方」

「調理時の写真」「できあがり」「感想」

④A4用紙2枚の見開きでまとめていく

夏休みの終わりには「調理名人！」

支援の基本→“なぜできないのか？”を  
子ども達の気持ちになって寄り添って考える

▲何を書いて良いかわからない

▲どうやって書いてよいかわからない

▲上手く書けたのかどうかわからない

加えて上記以外に“めんどう”という『4重苦』  
が作文なのです。

→「これならできそう」と思えるものに取り組み  
せることが重要となる。

## 《日記の書き方①》

指導をシンプルにわかりやすくする

日記を書く“パターン”を教えるだけ

▲何を書いてよいかわからない。→※ココだけ

◎どのように書くのかお手本を示す

◎書き方を全てお手本で示す

(よいお手本を示す)

つまり指導することは . . . .

(例)「今日楽しかったことが3つあるかな？」

・ なかったときに、楽しかったことを付け加える支援をするだけでよい。

※たまには、楽しかったことが2つの日や4つの日があってもよい

## 《日記の書き方②》

☆以下のパターンにあてはめて書くだけ！楽々

題 今日楽しかったこと 3年2組 山内 康彦

□今日楽しかったことは、全部で3つあります。

□一つ目は、～です。

□二つ目は、～です。

□三つ目は、～です。

□その中で一番楽しかったことは、～です。

□わけは、～だからです。

□そのことをお母さんに話したら、

「 」

と、言いました。

□ぼくは、～と思いました。

□明日も楽しいことが3つあるといいなあ。



# こんな通知表見たことない！！

これが、講師の山内の小学校2年生の通知表です。

図 画 工 作	絵をかく 版画を作る		X	X	X																
	彫 塑 を作る																				
	デザイン をする																				
	工 作 をする																				
	作品の美しさを味わう																				
	進歩のようす																				
家 庭	技能が身についている																				
	知識と理解力がある																				
	実践力がある																				
	進歩のようす																				
体 育	運動のしかたを理解して正しくできる																				
	きまりを守り協力する																				
	健康安全に注意する																				
	進歩のようす																				
Ⅱ 教 科 の 評 定																					
段 学 期	教 科 階	教 科	国 語	社 会	算 数	理 科	音 楽	図工 画 作	家 庭	体 育											
		1	よ い																		
		ふ つ う				○		○													
		も う 少 し	○	○			○		○												
2	よ い																				
ふ つ う																					
も う 少 し	○	○	○	○	○	○	○	○													
3	よ い																				
ふ つ う																					
も う 少 し	○	○	○	○	○	○	○	○													

研究授業のときなど、他の先生が見  
に来てみえるときは、大変はしゃいで、  
しかり勉強できたのに、善断は注  
意散漫です。やればできるだけの力  
を拵っていますので、我がままを通  
さず、自分勝手な行動がおき  
まるようになると思います  
(7.19)

授業中のよそみ、年がぶりが多く、忘  
れものをしてくると注意されるまで、知  
んぷいで何もしないで遊んでいます。  
強く叱られれば、何んでもさっさとやる  
力を拵っていますので、自分からやる  
という気を拵ってくださるのを待っています  
(12.26)

三学期のなか、ときどきですが、落ち着  
いて、勉強できるときもありました。  
わかんない子で、好きなので、もう少し  
自分の我がままをおさえることができん  
ば、ぐんぐん行ける子です (3.26)

# なぜ私が二次障害を起こさなかったか？

×苦手な事や課題を克服するマイナスを埋める教育では、所詮頑張っても「0」

○得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、マイナス面も高まっていく考え方が大切

(例) さかな君・トムクルーズ・金澤翔子さん

○ぼく(山内)にはたくさんの特技がある。

(サッカー・手品・ギター・スキー・船舶免許)

※自信→自己肯定感となっていく

※大きな花1つのタイプや小さな花の花束タイプ

# こんなぼくを受け入れてくれた 親や周りの大人に感謝！！

「やりなさい」ではなく「一緒にやろう！」

○プラレールの片付けができない時に・・・

→よい姿を横でお手本！気持ちの切り替えを待つ

○魚釣りを誘ってくれたお父さん

→「できることから出発」まずは成功体験

家にいても・・・ゲームやユーチューブばかり  
学童保育は・・・ほったらかし、声かけのみ  
放課後等デイサービスで充実した夏休み！

「困った子」は「困っている子」

「困った子だ！」と嘆いている  
のは、大人の勝手な視点

☆実は一番困っているのは

**その子ども本人**

子どもの困り感に寄り添うこと

# 叱られる子は負のスパイラルに陥っている

できない→叱られる→自信がなくなる  
→やらない→叱られる→ふてくされる  
→怒鳴られる→逃げる（反抗する）  
→もっともっと怒鳴られる

◆自己肯定感をなくしていく

「俺はどうせバカだから・・・」

「どうせ 私には できないし・・・」

「はじめから やらない方がいいや」

# ほめることでよいスパイラルに変えていく

できる→ほめられる→自信がつく→やる  
→またほめられる→もっともっとやる  
→どんどんできる→更にほめられる  
→より高い目標に向かって取り組む

## ◆自己肯定感を高めていく

「ぼくは、計算は得意なんだ。」

「調理が好きでコックさんになりたい」

「勉強は苦手だけどやさしい子です」

# 「通常の教育」と「特別支援教育」の違いを一言で表すと……

## 《通常の教育》

できないことへのチャレンジ教育

※今までのできた自信があるからできる。

## 《特別支援教育》

できることからの出発教育

※やらせでもよい。まずは、  
できた経験を沢山積むことで  
自信となり自己肯定感が高まる



# 子どもたちにやらせる方法(1)

行動を起こすときの条件から考える

1. 楽しい おもしろい やってみたい
2. できる わかる 上達する
3. ほめられる 表彰される
4. こわくない 安全

(例) 宿題をやらない理由と  
すすんで取り組ませるためには？

## 子どもたちにやらせる方法(2)

取り組ませ方の工夫

×親や先生が決める

- ・僕が決めたんじゃない

◎本人に選択させる

○選択するとは本人が決めたこと

○メリットとデメリットを事前に説明

×本人に考えさせる

- ・そうなるとは思わなかった
- ・わかっていたらやらなかった

保護者や指導者からのよくある  
お悩みについて具体例を通して  
お答えします

# ①「片付けが苦手な子」に対する支援方法

なぜ片付けることができないか？

×複数の指示が混在している

1 集める    2 分ける    3 整頓

この3つを分けて順に指導する

具体的には . . . . .

まず「集める」ことから始める

## ②「時間が守れない子」に対する支援方法

なぜ時間を守ることができないか？

×気持ちの切り替えが苦手

口の指示ではなく音楽を活用

園や学校も同じことをしている

具体的には . . . . .

気持ちを切り替える音楽を流す

### ③「ゲームを止めない子」に対する支援方法

なぜゲームを止められないか？

×事前の約束を決めていない

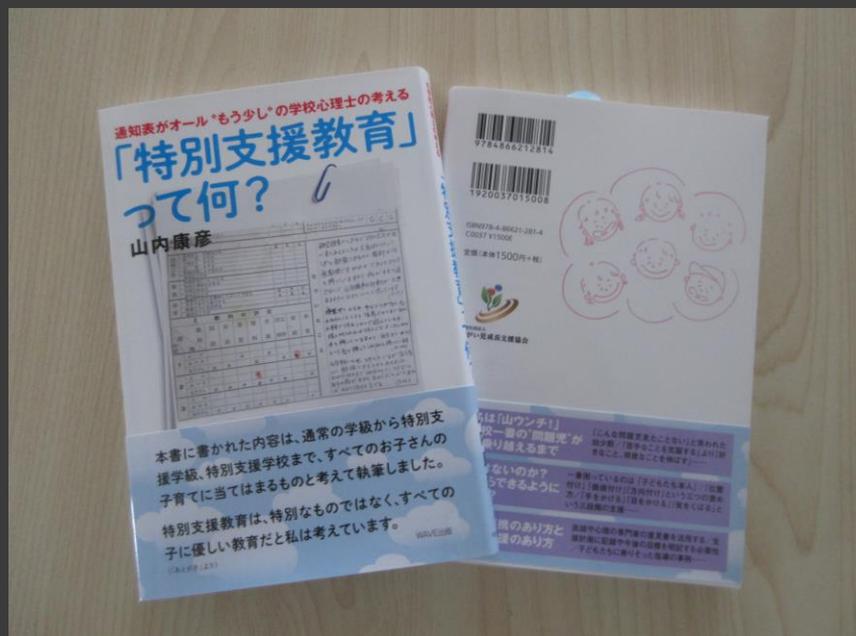
自分が決めたことは守らせる

甘やかせてはいけない

具体的には . . . . .

「ゲーム貯金」という指導法

# 困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切です



**特別な支援は、もはや特別なものではありません  
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです**

ご清聴ありがとうございました。

# 4月からFMラジオで毎週放送 「山内先生のランチトーク」

毎週火曜日 12時～13時

① 「愛知北FM放送」で検索

② 下へ→「JCB Aで聴く」をクリック

③ 白い“▶マーク”で再生開始！

特別支援に関わる様々なお話を気軽に聴けます。

ご清聴ありがとうございました。